

「平和ボケ」と言う言葉を耳にしました。戒めを込めた言葉に違ひありませんが、一方で「平和ボケで何が悪い。」と反発したくなります。

ロシア・ウクライナ間の武力を用いた他国への侵攻は、まさに「戦争」です。人間は第二次大戦を最後に、人として最も愚かな「戦争」を二度と起こさないと学んだはずではなかつたのか。当事者は必ず自分の正当性を主張し、自らを正義に奮い立たせて銃口を人に向けています。

しかし、もはやそれは正義ではありません。人が人を傷つける行為は、すべての正義を打ち消す愚かな行為です。

教育はこの愚かさを77年に渡つて子どもたちに伝え続けてきました。この営みさえも踏みにじるような今回の事態は決して許せません。

「ボケるほどの平和」子どもたちにはそれでいい。

## 季節の巡りを迎えて

ありがとうございました

この「校長通信」は、回覧板を通して地域の皆さんにも読んでいただいております。各区の皆様には大変お手数をお掛けしております。  
この一ヶ月も試にやりがとうございました。

この一年間も誠にありがとうございました。

# うれしいお知らせ

## 「学校賞をいただきました」

小学生から一般までを対象に、ひとつのテーマにそった作文を全国から募集する作文コンクール「言の葉大賞」(一般社団法人「言の葉協会」)が今年も開催されました。第12回を迎えた今年のテーマは「道」。

夏休み前に4年生以上に呼びかけたところ、7名の児童が応募してくれました。審査の結果、南小学校が「学校賞」を受賞しました。(小学校の部は全国からほか13校が受賞。「言の葉大賞」のホームページで紹介されています。)

自分の思いや経験を子どもらしい言葉で素直に表現する力が育ってくれていることを大変うれしく思います。

### 【応募してくれた児童】

6年 尾山 歩さん 園田 真彩さん

5年 若松 愛華さん 後藤 はるのさん 池田 愛佳さん

4年 宮毛 環菜さん 岡村 こはゆさん

